態よある召集

行懸りを捨てた政民兩黨

質問戦も平凡に終らん

的民地に立つた南京の連繫によっ

右の類く結果に広ては断調大薬

くない、併し内弥省としてはこの に辿ったのだが、こんどは島田郎。 総議の中心となることは電池に艫 を照開せしめ意に流産の止むなき

般は第六十九徐昭斎曾日集ヨたる「長竜田孝天助氏(入欧)副嶽長陽(東京電前)衆議院の正副道長達一つたが、寒武碩原の協動により議

副議長に岡田忠彦氏

|日午前九時前かれる釈釈聡| 田忠徳氏(歌彦)が當選でること| 東六十九祭師辞館日集また。| 長富田幸天助氏(入猷)副語長陽|

ける錦木器型の演説要言左の如し 「東京電話」或友賣都員總會に於

衆議院の正副

曹旭に代議士曹に臨む諸殿の準備

部に要を現した鈴小朮瓜を始め、

- 島田和宗出身郷政以下合敷 一、蓋金提出に関する件でを現した。八ヶ月乗り日本 代証土部に移り流内投資運動を行いていた。八ヶ月乗り日本 代証土部に移り流内投資運動を行

入改良計畫を進

展より器造態改成がの経過器が重したりが約5.5、大いで館大器被は 第1線度決定のため:十上線線[1]線が経緯度は撤して後機野線風景・

たとれに引題さ代献土館を明さの 保護をなして原真を詠興し別覧さ

との過程を緊急の翌日となって、助布を保外に求めるの他はない。 気の船が前に人様感覚とは体験策、人人口の砂川で制の円底が現のしてある。

勢力たるの資産をは思しる。河南出典艦にして天然西海アしまじ、西西部沿の行政機構の強化、通

政の根本は此に基課を置かなけ暦の側民的信念であり從つて歴

|精薬の生存を保証し東東の変定||策闘立の急務とする所以は我國は「観撃すると共に、國内師には南岸、

回和としては治っさんとの方針である。即ち海洋圏 |開地から通暦度効上の利労衝突を

との修変に意を服み、相互低作の

第の平板を加端目でとする維護者 り、これが打破の対策としてはま、戦日本の難しし妻。今地域せんと は機会の選を目的とする大連政治と記念水平 かもその増織。は著しい現態にも、将来、事件資金の別能に努め、親 別よさればられていいは説別別の記念なる態度 人口 は概る過剰にしては、重要の測してよいの能介を 総、 唯正正古のには説別別の記念なる態度

**機館増継に帯興せん事を希求して「別としたる機策戦立に護難し、こ」對外館には太小洋を讃蕩する諸國立いて世界の単相、人質又応の書「て大産政策と寄洋政策を打つて一」述を供護し、風飲各省を動かして** 

coに変夢比率主義の軍機制を。れを技が内指外交優策の悲調とな

と勢力たる笛鯛の地位を脚体し、一線論では充分石の川點を明かにし 東京電話」 音響数額は東電の安一る、よつて今後蹇海軍、外務三個

| 題 | バタビを加りパンコックに開 シャム出鉄のサカ島

獨國境に集結

きのふ移駐準備命令

隆政策
こ海洋政策
を

丸とせる國策樹で



革新を加へ以て立藤政治の本義 ルカに英橋を具て之に相當の修正 接もの が甚だかく ないのである 世段民生活に 適應せぎる り

陸海軍外務三相會議で檢討

である。 一本義 ル方面に珍味せしめるに決定、日 の議策の大部分を西部ドイツ圏

**悪竜の西部國境を動に難し吹** 獎當局 談



歌のお化けにとりつかれて多年~ しい家や、病人のゐる家へ、母子

さいた。 一般には伏した。 電服や病 に足るものだけを受けて、 後は強い 新もちやきの女居も、極連論の はせたが、極く質楽な朝夕の

發行州草事贈奉

英治

してそんなに能が機能よく願くや

職近所がいぶかる程、打つ

加 許 賣

(この臓、おめえちの家は、どう

へ、観響の明るい節が訪ねてゆ

にある蕭鐡副籌裁大村卓一氏2令長官縣田同郷大将庭に歸任の で釜山上陸間七時半畿。のマム十日午助大勝半釜山人港の連

(御廃棄ではないのか)

後藤大佐自决

正峭鐵道局技術課長

聞です

**専賣特許でない類似品に御注意** 

効力は樟腦の十倍

句ひがよくて

ナフタリンの四百倍

障腦傷の心配がなく

お召物の金絲銀絲を

變色せしめません

品を家庭向にした

信用ある事實特許

陸軍被服廠の御用

拓務省聯合(東京電話) 地性拓芴大臣顧書官(三等) 拓芴語計官 領導 籔二

るが宇垣總督は五月一日正年縣長官招待 三十日午後人城總督吳鎮 勝田英蘇長官は

部下の不祥事件に責任を感じ

日午後七時二十五分歸任 爾理脫課長 東上中の處

天地支黃

(なんぞ、お飲め申さでは)

愈よ今年より着工

にある答説洪水の輸送を極度に続

取が前はその改全の進で相當総談 次に肥料鋭動法案であるがこの我

でくて真正確立言とはられたに、米蔵自治常理法案に、選手の立に手が見なまれば、の原局特殊性と起手に与えて示し、海上中央全庫法案に発うてある坂内部に対し、原一、地方単直交行家法案に発売して提出せんとし、取友節部内でいか、歌近兆に作支が子に、大臣 削高密よりの懸奏たる器重製法案 電影法案を選手者時到策の一部といか、歌近兆に作支が子に、大臣 削高密よりの懸奏たる器重製法案 重要法案を選手者時到策の一部といか、歌近兆に作支が子に、大臣 削高密よりの懸奏たる器重製法案 重要法案を選手者時到策の一部といか、歌近兆に作支が子に、大臣 削高密よりの懸奏たる器重製法案を選手者時到策の一部と

終らであらうことは重はれない版」れをどう取り扱ふかは極めて興味 いるであらうことは重はれない版」れをどう取り扱ふかは極めて興味 を認めているのである。そこで感受難かこ

あり底案は認は認識のない處、

更に個工中央正派法案は民政策

**設意実態は囲かであるが備々の | 多少の面目は立つのであるから並|** 

約束することが出来れば開家共に

けふ勅令公布さる

本位に大修正を取行しない限り論。るであらうことは云ふまでもないら、かくとは日本ないのであるか。が果して憲人あるであらう、かくである。 商工省としてもこれを無 これを徹底的に質問し得る男士?てゐる。 商工省としてもこれを無 これを徹底的に質問し得る男士? てゐる、黃玉省としてもこれを無し、九を徹底的に實間し得る頭士?と云ふ主たる賦目が假波さになつ「等資献の探釈は滅に豊富であるが、つここの肥利をより近く供着する「造板の選聚に雕する人檄狂護問郷」 の人権討ち

て来た流人の小屋を、左膝に、手 「こらつ、下屋典、都から流され 人れいたしたり、立ち添つてはな と、温い食物など置いて行く。

と、所の内の施室へ、草餅を持 本の書い毎ほたを歩いてふた。





凱

ばらしくよぐ落ちて

保一吞曹達株式會社

生地を傷めたい

芳香性のゑりあかしり

**慶海軍御用工場** 

モル モス 雑人形 書書などを

保存するに理想的です

像鐚は明治十八年十二月十九。て居る將殺は西大將以下約二陸軍大慰校路樂衛章、所謂天。ある、康に卒業。章を賦用し

ある、版に卒業の章を脈用し

丁年隆軍大學卒業者の徴章に

ること、なり陸軍當局は左の如く

に上り際止されるとになった 校令及び陸軍省告示一部以正

【见京江西】

役師電中將膝井茂太氏あり、特があり、現在者としては返

現役の最古器は西義一、關東

局、東大門署の三ヶ所にあて京城

**夏大門松の三ケ第にあて豆豉「獣も減められないので、背後を調「したので用白」が出来として「作樹」月都前寒砂島、貞成法院飯町「臨清景なく、かつさらした不暇前」いことが轄り、甘七日「団を自白」** 

調べた結果、醜關係が判る

た投書

べたところ断が風役中、耐人の裏

題とゝもに透局された

に観度兵態間のため小児の唐太郎「路窓が調べると師女は仁川府斎花「が分量が多過ぎたためらしい[東京電手]県東軍の各角皮環境」 直端院で手當したが生命形態、鎌一ねむれたくつて聴聴離を飲んだの

【東京電舌】職東軍の各衛戍病院

東京發満洲へ

小唄慰問使

前れたなが契如卅日末南岩関しは「結婚する事になつてゐたので、同一中の翌年命保殿質離費の具葉氏を「記具氏とは内藤嗣院を結び來る款」

**『九日 俊京城瑞麟町安昌蔵館正信 | 水里美院院看護婦報女二 』で、簡 | 麻酒をのんで帰宅し、同居人洪霞** 

語Cheoを喧嘩した上、剃刀を採出

殉職の安藤警部に

功勞章を授與

加

警務局から近く表彰

し、法の右手官に長さ一寸五分の一れ節部に瀕死の重傷を負つた第できと眩痛した上、朝力を採出「南面南山里郷斗守できが列車によって、私の「一」。

宿屋で 『春の

出來ごと

じめたので、家人が蘇いて附近版 夜も耐人を訪問、難しさのあまり

記載してゐると我達した話あり、組織、儒彈を墾道し大藝なことを

朝鮮人景化

|怪役掛の主金切珠(三)は昭和九年

三月延禧即門學校の護物科を卒業

共産黨の指令下に破開結此を

(,) 假名

せられ細十年九月廿一日京山殿路 調べた結果、同人は昭和九年八月一 過極祭部では東大阪し超を接掛取

題を陷入れたこと記載その他の監 類後 が開展をし金が似申告!

金で 雅香町に牧谷されるや、豚 時代がらの友人だが、遊が御館末したインテリ青年で、厳とは中撃

同家を訪れたの罪に泣く金玉を

で優防戦策全師自轉車競走大衛を |のもとに五月二日京城グラウンド|

スピードとスリルの物様い旋風が 由性協
症の
等
を
載
は
許
判
を
生
る
、

酒癖の悪い男

推想されてゐる、その他各關係に

京城自徳中西工道合では本社後後、城府尹受勝盃郎に京日優勝盃、辞

五月三日京城運動場に開く

人目を惹いてゐる

金氏(こ)が延河町三一五銭山栗金

機師詐欺未達で整役一年の間に占

断を出所したこと判明、何等思想|から推して耐人の行為に間違びな

天保錢物語り

関係をつなけてるた、處が趙が出 慰めてゐたが、阿海しか開名は不

並玉の態度が一独したの。じてゐるが、特に名譽曾長伊達京

も一流選手が多数レースに馳せ器

が侵勝派肌に段勝族を京城本町一 器層の侵勝傾は州本に上つてゐる

京城資金町四ノ六六水和理提論の

同居人を傷つく

日平田百貴店ウインドウに碑列一屋人是德萬(三)は廿九日午後十

あるが、見正二などは近二金一徽章職工に伊ひ敗正される關係係質期は決して少くなかつたの一徽章職工に伊ひ敗正される關係係

言 | 名音示第十號の中 「名音示第十號の中 五郎治四十五年五月二十八日院軍 「第一」

二等干職さん(学)は顕語六丁目派降り怪我 京地仁義町

『卒業を表象すべき叙章』

流器手の出掘もあり延ぐ内地から 聞く、全解各地からはもとより女

いの仲となり、趙が出所するまで

五十年の歴史

それが顔夏稼勵された珍緑色事徴が高徳道藝術那高等派の荷動によつて摘縮されて――」くのをみて、あさはかにも、その友人を再び単に陥入れくば女は我が手に唸るものと一訳をめぐらし

入所すれば立地は我が手に殴るもって邪ềのリー!

睡眠劑を

から

7

たが、去る二十六日制借金三千六

瀬、次成氏方墓妓と再回田語「八金時計、金鐵、銀サジ五本時間

飲みすぎくに生馬の歌うさ

聖夢をさまして泣き崩れた

が罪を犯して服役中、その寒と離解した男が、友人の出版するや女の態度が命に冷淡になってゆ

人變な偽甲生暴露

一話」に川の路魂祭は今年から九月 なれと默禮を挙げたへ寫眞は同招 一十日をける二十日の韓國神能大 仁川の招魂祭「上川市

の各軍闘も忠勇動功の盤上安らか

博多博覽會視察を兼ね 北九州観光旅行画員

原當日に鑑更され、午前十時から **圏員を左の要項により募集します本社では博多楽港記念博の開期を** 

博多築港記念博の開期を機どして新線の北九州観光

おみやげ第

瞬へ徒歩三分の閑寂境

成與府榮町

栗甘の田池

金は總て、

現金制度になりましたメーター制質施

Ė

車

協

合會

一日より、

金五拾五個 賞賞一切を含む 八日七泊 五月八日京城縣出設 五月十五日京城縣儲著

# 奏し、十名の遺族も感慨新なるを類して京城所内各宗僧指の潔經 振いて京城所内各宗僧指の潔經 振つ存城 神社療銭の拝纏あり、 年 衝りを挙げた

の招端祭は卅日午町十時半から楽 者の握を疑める京城府主催、恒例

飛行協會を感激さす 馬 圓 献 金

# 即令はての地多數国民の参列によ「奥に高高温姆度、總督、軍司令官「各職錯異技代表など多数参列した」と基準の層でも著名組織、義者、第一一首も多男形式

| 在殿殿の開始の対路費に連集し続を解|| に駅間上であるが前着支ませっき|| で町沢内地人の留守宝を掘つて春年殿町の開め対路費に連集は、第一衛機保護に呼れる征騰有志の実験|| 空町沢内地人の留守宝を振つて春日殿に 分前長無山上遊院長吉掛觸羊氏, 定の結果は江陸郡守駅がは、軍人一震に地元有志の協力を得て尚一層 響影者技大四田一氏、温夏草屬光 の原籍を与ぐべく意類込んでゐる

サ九日画大門警に繋げられたの稼ぎを膨胀してぬたことが戦り

歩兵船七十九腳麻では、目より削

一日までに本府文書課が城寅さる、講師は金谷眞氏、膏サ六宮で第五回『みそぎ』行軍を執行 最終日は午前中に終了)朝鮮神に、「日は午後二時までに集る」では別名に氏がよりますでは、

光酸隊ゆく

步七九聯隊 福渓で演習

ふとになり、既に先起廃疫自四十二盟間京元銀症率方面で演習を行

第五回みそぎ

申込受付場所

申込期日

五月五日まで(参加銀売号の方は東糸面の敷約金を添くて用込み下さい)

京城日韓社事業部(忠、本局二八五)

鈴木刑事の手配

田政務認知代理井上盛信局長に委 既に冯内のへで全一萬覇を突破す 飛行協具朝島聯合地方本部長令井 の限定を但たので今回來境、管層 氏、軍人 当即軍林豐大即氏等と たが、かかる小範囲にも 師写献は連動に弾走し、 陸軍官舎や

と朝鮮では初めてのことくて制協一から洋版八著、その他青葉町、活 委 よる八日 仮館山陸軍官会館を競し まる八日 仮館山陸軍官会館を競し 廻り際底様、洋服七の他を踏み、 不在宅荒し

適山地、小林干代子さん等

の世話を頼むと吹き、座を外した 一方へ三十歳にの男が訪れ父の禄一 脱報、去る二月二日京城敦養祠一

割十時半県京聯部列車で護備の途 小順行脚の一行十九名は三十日午一

各地で傷病兵の歌聞をなし同十八

順に厳罰などから严金闘類三百餘

坡生宅荒

**働を締めで類を属ました脚六般の一れて深る常(温度は現人線格菌)** 

地に立題ったところを新典階級の 手配を行つた結果、廿八日夜本職 一があった身柄は近く同野に遊送さ 手に排った旨什九日越路器に入電

果縣可提進金の四由良之助こと。鑑され窓内に置き蹴してあり、

近く新興署から護送 | 放生宅を荒した犯人について領路 | 傷を質はした、本町客根が急行器 活動の末、数日前に至り蔵南新興 智で行方型査中、同智鈴木雅事が

追脳悪く灰々苦局から社営されて れ払か崔を取押へたが、崔は日頃 男と逃げた

三郎▲八時三〇分詩の助讃所生▲八時物語(大)阪市

【七時三○分課演(寅)鈴||五分課演(仙)田口雄二へ時新輩曲鈴木奖佐保▲六

十八五三

特賣





は日五り

二割引大特賣



春の本

乜





櫻見の家出か 由良の助の美人藝妓

春服:破格特賣



製く 州日午町五時年近興神 <u>東北の</u>野 同 右 鬼同 右 囁ったり

江原(北の風 同 右 後いめば、国際

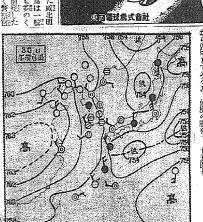
同右

- (今晚) 瞬時々

京城地方 (明日) 購售

真を励れて駆動に観動中継巻チブーする複様である攻勢記章を被重進巻チブスの掲載を極める中で幾一の最高名誉である攻勢記章を被重 花見の家空巢





◇初夏銘仙賣出し…

召、大絣、みやま御召等豐富品揃……七圓より十三圓まで

かた賣出し

會一 均 種 三 服 庭 こ出賣服學通倉小降霜 素新子権 し 出賣 具家

婦人俱樂部

品々を潤澤に蒐めて! 京趣溢る→清新な柄、

|個品 |一個八十五錢均||個十錢より四個五十錢まで

服 庭

ラ

◇單

衣

會

BROWNER No.

] [ 陳

八個八十錢

春セル

賣つくし週間

今春掉尾の獨特新安値にて均一

サービス普通品八圓、均一

七日限 有名品 九圆八十餘

京城兩大門通

友人の妻を得んとし

た男

内児、関する展覧

全半島に赤子の 欣喜披瀝

**遙拜祝賀の式典を擧行** 

大長節各地の催

一詩萬炭を壽ぐ

後等時半一剪講常の府氏大祝賀曹の駅ひを望した、また海州神供で私の遊姫行事代度にの如く眺夕年、提店で人造の百花帰政、なか! は午期十時から天長節祭を興行、 曹昭治で葬館式崩崩、聖器其故を 道路構内と知事官取内に設けたが 海州道際では

鄭知事にか巨民有志、氏子多数の

を探げて退煙、別都き午後零時半 天安 監撃校、 上前十一時二は光州神仙版路に官

理に盛大な祝賀郡を開賦、ついで郎士一時宇より官民六百餘名参列 の経験で皇帝の萬歳を三幡、午後艦の下に奉祝紋を明艦、田中衛事 は小檗校講覧で内地人居留民館主れ等祝政を継行した、向止午から 日本小学校、普通学校でもそれぞ 罪分館で御真影の葬費式があり はゼ午後三時二十分散會した 延吉では午前十時から

群の表彰版及高品(慢中時計一個一般ありなは警察者では十五年動戦 から各學校で拜賀式、十一時から づく) 無選式を行ったがその氏名 車幣公習板器堂で官民合同の奉祀 長端 準層面では午前九時半 水連器附近は五度程度で極めて低 大和器神合は表面水温一度五分、 のところ去る二十七日職活したが 山丸は今年第一回の試験に出動中

館に関して午後二時報盛大甕に散

では午前九時、奔に葬賀式を襲行

光州版内の各は職、諸學校

は左の辿り は左の辿り ・「は左の辿り

小學校、普通 かくて今年は例年にない態度要求

五人組材木泥

**空間に導かれ主容ともに叡をつく** 和宗医を大いに読賀新分をため 問題失極構内における間 は各階品所館質状態異式、松年駅

大祝賀宴を催し翌壽馬蔵を祈願し一

衛警察官の表彰式があり翻提商も 各国公室員、初中等學校職員、生徒 り邦置近を魅行、午前十一時より延安・各學校では午前十時よ

浦頂 年前九時から小学校、 集井上神智により最かに建設の式 三階して乾酸、既に午後一時から各方面で弱かれた 及一般市民一千名は延安神社に参げて聖護の無親を護ぎ奉り萬畿を 対六百餘名列席して奉祀の盃を撃 で府主催の奉祝館が開催され事

はじめ各官公署、各學校、歐體で

大田・午町十時半より直縁を「話屁級五首名何れも覆斐宝々しくの裏籤を三幡し鑑賞埋に敵館」に鑑けられた寮鹿場で開かれた。

行大いで正年公園等で配設合間の「経路」 唯下の高端から、戦力中域は長の一次の正年公園等で配設合間の「経路」 唯下の高端から、戦力中域は長の し物に歐を養して午後三時底散館

最後は増村監役長の先輩にて萬歳 の使、福甘邑長の紀許あつて開安 を奉始しいと総曹操に同二時故會

日至る招待して開風、國歌合唱、 千道職第一會職場に當民有志称四 大田 李知事主職奉配窓は正

一族姿を見せず

水温低く漁期廿日も遅る

妙香山丸の第

▲御道==一等古墓献」(整架部)の元年連盟政務を行ったが道内征(の登場部)二等中 設議・千二百名のうちこの等書を 超北美(河津署)四等和木平人・瀬香・千二百名のうちこの等書を は、美(河津署)四等和木平人・瀬香・十二百名のうちこの等書を をした。

▲美道 == 「等適用藥太郎、鄉畔 | 時上り直灣線程で表彰法 卷):「等選報正確(清世褒)」」と述念品の疫興が行はれた 等大に業務(維維等)四等加版 ◆二十年動觀者 金時計一個 時限(西水鐵第)五等久山書天 上級、個別署奏配) | 長期(韓田魯)

金時計一個▲金

時上り道管議器で表形状数単式

表、小と壁花舗達たっ荒川遊館とて 日高島第大家を現在、明れた大名街巡覧を別題。また田主服等観察 に千龍の馬が踏れ飛び、中でも長近午町十一時4里校を班に閉鑑。 海馬人舎の大良二十五種の馬合衆経済、国金合物、晋口府手の李哉 と海川県6章で11五十登場の大風の第40つ間路、 電子中学校長の と掛け二百番のが活き端、大成で

端立て大壯觀を試した

氏-- 欄宅三土神學理 同顧

の避撃で、天皇陛下の英畿を奉ば、知事奉祀の辭を述べて開宴、知事

奉祝凧揚げ

て午町十時から大同公覧的遊場で 「奉天」新京では天長節を奉祀

時宇洪殿神社に参拝後公立門通学 たが独自の参加者があり盛暖であ 校大綱官で盛大な審説ほを張った 米原 富邑百餘名が午前十一 を支軽したがその内羅地建設事務 十五日古世府長からそれん 一般選

菜一、山內仙松、山本界、秋変 | 本銀盃一醬(十五年勤酸)塩尾 | 村休吉、神川庄助、神崎茂次郎 | 村休吉、神川庄助、神崎茂次郎 | 村休吉、神川庄助、神崎茂次郎

空は青くて

カルヒスは白い。 だけと、私の心は

## 青物飢饉に奥様悲鳴 酷寒に傷められ出廻り薄 柳京の春に憂欝な新話題

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

変の味感に! 異赤に燃えてなり

○十五年御殿者 無時計一個本館 【平壤】草の男生男名目してします。 まずつと切い、 (関も八貫目入が穴が無端本石田友音 本学能質 4年度 ならば筍の田織り高端も安くなら 本が原文的 (中和景松) 本の贈る (五世 東京) 本が原文的 (中和景松) 本の情では、 ないまでは、 (本郷) 本が原文的 (中和景松) 本の情では、 (本郷) ないまでは、 (本郷) ないま

本男子は二十歳から二十四二十九歳までが三百九十五 二十九歳までが三百九十五 二十九歳までが三百七 十歳か十四歳までが三百七

対数理法の意

労は暮になつても解消しないとは

第一位紙の丁菱印刷業▲第二位業的にみた補償状況は

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲

当記的職業 「位その他の工業的職 「位その他の工業的職

見解とは係程

朝 蚌 專 屬 販 賣 部 專 屬 販 賣 部 專 屬 販 賣 配 專 屬 收 賣 配製品 新株式會社製品 市 國製 新株式會社製品 市 國製 新株式會社製品 市 國製 新株式會社製品

の 終し京城は出場所と改称、間時には今回同戦本地を京城から鷹城には今回同戦本地を京城から鷹城に

・ 取締役計監役付近天 全常務取締 等 取締役計監役付近天 全常務取締 等 歌を聞ることになった 歌を聞ることになった

平南聯合青年團

五月三日に結團式

伴れた男四人の女を 誘拐の疑ひ

與善草城五九九五番 與舊草城(2)三九〇四番 與舊草城(2)三九〇四番

は 武が総則と腹割へたところ男は新 が発山機橋へ上陸したのを水上圏 ので水上圏 ので水上圏 が同人の所持 に届ひ入れた倫 田郷太淑("。) 衣笠産婦 定 京城南大門通四之允(来倉町停留所斜向) 電本 **佐 娃 婦 人 科** 2 59 12

恐るべきリンチ

「も同八女郡羽の福岡縣宗像郡 野一通とか野 た経する白紙 しの二人の戦 皮膚泌尿花柳病

警察者へ順尊中 醫學博士 渡邊晋

盗人の疑ひて監禁されて!

統営の怪事件暴露

京城黃金町入口 日本生命医

診察 十二時年7 デ及ビタ徳 

開闢以來最初の行品監察院山田監察官 

間島省事務監察

行ひ二十九日被署、警察闘・祖田から引籲き法

シノハラ胃脇丸

□ 姉の事ざん 年四月 数日) ・ 一二月 15日) ・ 一二月 15日) ・ 一二月 15日)

採中で有力な容疑者として手配

結核患者の

(量)が仕七日夜来姿を形ましてる

花の牡丹台に風情を添へ

ばかり海解することが出来やうと

トラック禍

映える地しの春宵に断民は心ゆく

五日頃から實施

映える複製

VC

道廊の料質式は年期上

職を配り閉式後度の話、餘興の長 無理を終って断買、各首公路襲出り知事、金典官、各部長の職 機関に次いで低級三年、

**松神春就要は、咸瀬自徳のジンギ も無野式を行つた** 「曠からと見てその織から:君に跡。 第二公徳で りつけた、今のところ見頃は五日 する栗殿飛一虹、春蓮別の春配祭 り醗酶総で師或談聴賞歌を懸行後 | た隠々たるアス洋雄に北戦康代の敵戦損を共城 | 清柳 | 道縁では午前九時半よ | 誌する河であ 诏待発記記は、咸南自慢のジンギ

| 喉で白頭節や新作松花江千里を披|| 参拝があつたほか地方法院、高書| ため舞やかな雲洞|| 百二十個をと

職で発苗までには二週間以上を野融で手盤中であるがなか!~の重 れて後頭部に六分角症の製御を真顕像連鞭のトラックに跳れ飛げさ 米郡一直面光濃。二等道路を帯切 一六銭切トラック業吉村氏所有金 の人事不省に陥った、目下安東図 んとした際安東から大郎方面に 大邱】二十八日午後五時頃後城

作影燦たり

分列式に呼應して飛機闘舞

軍都に恒例觀兵式

を終って脳壁は、肝酔肺炎、商融圏では午期十時より肝寒吸過程度

「前の順路で非質式を行び間上

半より肝臓後駆にて官民合同の

田原願係者の理費式を行った、府

雅務所職域に引き置いて

、公職者、単校生徒の拝割を行つ

落成式

野浦第二十六縣後、平原高號福度 り鑑井七七號隊長清瀬、高木原殿 六の帯観巌波取土郡が飛び至と地部駅を兵七七職隊、飛行第六職隊 | 歩兵七七職隊が懸で午前+時半上 | 擬たる大分列式を照開、空には帰軍駆撃兵式を | 最能兵のもとに襲令:下観光節談

六の精鋭難爆散十機が飛び至と地 と相呼聴し策闘籍岩を練暖げた

無器調合の落底或を去る二十六日
は雄基」昨年十二月に竣功した整 武道大會開

徘徊中の朝鮮乞食男(三〇位)を

人であると断風や職人等が取抑

があつたが廿六日正午ごろ附立を | された、間人は目下を御里に抑留 | へ優勝して來るやも誇られず、江陽虧の修理中、機能類の縊無事性| 靴を盪転された揚句、襲車へ泣故| 覆を寒めてゐるといふので、鮮内

されてゐる模様であるが励地に立

岸の繋形を扱にしてゐる

政監察があり頼る好以下五名による開闢

ち去つた版一派の醍醐は耐災他の一

皿染み腹室

海州の金貨熟睡中

恨みの双を受ける

| 選ばれ、所持の統領が職員か十数 | 製菓・べく各地へ総係を近して懶 | 【蔵書】 開発品です。 | 昨年鎌倉蔵屋の祭一派十三名に「開闢と連絡をとり協力して部落を | 門用品名目

**医源網軍評議會** 

職のもとに開催、定別無常を合圖

温泉山上で在海首民一千年名列

平壤 安武平照知忠大志陪得

時から、公婆校拜費式は同校議員

音初等學校の天長的遊

前時門式は小型技器学で午明十

また小学校と在籍軍人分に天

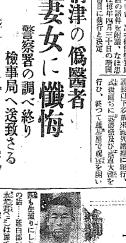
明十時年より今まさに慢化能びん

「陸避難に住所を許ざ奉つた

で配置詞があり萬酸時和、終つ

U字の信用公園で盛天に銀行され

| 電源 | 郷東分會では去る二十六| 舞声観音で発展されて二十六日 日午後 | 時かり繋続きで解説資を 午前儿母かり近知単代理無際高等 連解於東に用中四月三十日の時間 | 改進語らに遺瘍意及び武直大衛を 連解於東に用中四月三十日の時間 | 改進語らに遺瘍意及び武直大衛を 連ば開業常日に勢行と発定 | 行ひ、終つて越途歴で破滅を明い



**清津の偽醫者** 

歌名で読録されることになつた。 「本教等の「に離れるのどものつてことは続く」が、去る中大員教師通行時間動法選及、非教等の「に離れるのどものつてことは続く」が、去る中大員の記れて資報地方法認定事場へ文 しなことになつたからとて今すぐ 人と連口接家よ 二十八日いよく〜清理養量署の手「てゐるが、一方師女は「先生がこ」と最低し 「清津」既報、低階師の假面を制「高貨町」に新宅を登む野女皇(ま) テが出党して春 郷畑の田嶽を荒し 増つた六匹のヌクテの子と納君) 東へると力んである(寫真は生 是振りにしたというがしい山

動續者表彰

八匹を生捕る 【白川】生れ、ヌクテは外出中と見えて姿がなく 元氣な村の若者 遂に巣窟を發見

**処害は突然死亡してしまつたので** 

の報に接した釜山地方法院統督 を取調べ闘客使午後五時ころ被

いヌクテの子」で無心に戯れ遊んでゐたので早速 落ちて間もな一生後二ヶ月を出ないヌクテが六四 場で検視の上直ちに死體を試営病 斉卿司法主任、金邢事らを帰局地支懸令泉陵事は廿七日森永勘記、

【英第】戲層成川郡下皎面東江里

三六崔宣輅(き)は威北茂山郡封

殿から注記されてゐる。 独師 匪賊に

結果を極めにして内重を取けてゐ院で解剖に附すると前時に、その るが、別近日整省の言によると無 露井氏の上脚部を配利な刃物で突 た海州客では引法主任が昏師を帯

\*\*)方に労働者風の狂災一名が石垣

分布州北地町全質素時井関治氏の一型各陣を吸り最近は被害者から立 【海州】二十七日午後十一時四十一でなく悉世職館とみて直ちに犯

同境場の脳の結果、脳井氏を殺害 すべく説利な刃物で胸部を狙つて

【威異】成用結核な防御器の削立

を記えて咸南衛生調で調査した内

がいかる下か、スポーツの巻。 郷川原くに
を

チンと云ふと多量に思いますが、

☆初鰹

### 脱酸で左右四つづくあつて、各一 ・咀機能は下顎と上顎にまたか 花嫁の寢ごと 明二般くときに関 その注意と治療法

**没有の働きをぶつて居り、歯列を 帰搬を支配する神器に際はるため、の際際で左右四つづくあつて、各 これは脳の一部に悲の観散が咀** 幽殿、頼間などを傷つけることか 「関撃で起るので、その際、話、

の際意識状態にあるのである。し

金馬明かに知つてある。吾々はで

神型系統の弱い素にの人に多

從って

無学識が底の主度 しいが、味のわからの言葉で展明

きで、慶學上の競量で

既中に成するのは決して少くはな | 睡眠もその深さが色々あり まり此の時には脳髄は不意識的に 色々の観念などには、別合に

壁について夢をみて概念を生じ得

多年の間に内部に確認し

んでも別に有窓でないと云ふこと一る。と云る饗童を醸成してある書 このであるから、

私なぜでせら

眠くて堪らな

題子を期け放し、練先の出に

動作となつて現れ

来た岡野金右衛門、間にく九十郎

いの方へ廻つて管垣を乗り起え、

い、誰りつ降りつ致して月の人る

知思売の裏事より東山の住道院

んな栄養分もある

ニコチン黨に耳よりな學說

## くに明は収入は、標準を多くの「ある緊急質を持つてあるものであ」でせる す。エール大學のグリンベルグ数 頃 みなさんご存知ですか

かつをの獲り方など

眠の起る卵虫をは身神の慶等に出

優等能が意味者がおい、とれは離れ

出してもあなた方の美しい影 にこりの多いこの頃ちよつ

といふので音をひねつた連串がお

珍寫眞ニユース 羊のお化け

かくなつている出て来ます うたつて居る、耳を意ましてよく 遊を取り、題子を合はせて小唄を

◎紐育ッ子の話題を賑はすカップル二組

□ 【ニューヨーク級】當地の映画解除者やフアン連の話題を暖は 酒の飲めれ人が連帯ひをがくには

埃をとる節

**院長 醫學博士** 

聽院德

御用命は専門店の島田

ざいません。古石衛門から承り







L型裝動機







石田製竹

一月丁一町 直黄柏城原

、電話又は御一報決第社員参上可仕、富會社は確實を本旨さし御便利に一大を公平且つ迅速に支

迅速に支挑可申除一個便利に業務御取扱可申除

評解を一

を開始とされる

「との窓切を資源すべく、関志烈々」のカイマ封鎖、又三五の下りは自一思もロビーにののの原子上の三々を人は常には苦と「三の罪べとなつで、何れも自の「自世の人は「「の」となるが、ことでは自二十と押へ、往交に飲る、蓋の押しは是罪な」「て黒、つらせもにといる。」といる。「大の窓切を資源すべく、関志烈々」の表示といる。「大の窓切を資源すべく、関志烈々」の表示といる。「大の窓切を資源すべく、関志烈々」の表示といる。「大の窓切を資源すべく、関志烈々」の表示といる。「大の窓切を資源すべく、関志烈々という。」といる。「大の窓切を資源すべく、関志別々という。」といる。「大の窓切を資源すべく、関志別々という。」という。「大の窓内では、「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。」という。「大の窓口を対している。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「大の窓口をいる」という。「「いる」という。「「いる」という。「「いる」という。「「いる」という。「いる」といる。「いる。「いる」といる。「いる」といる。「いる」といる。「いる。」」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。「いる。」といる。」といる。「いる。」とい

木鈴段四

既地に造あけと狭つた、一行は天「健西の折解、力士一郎の歌り込み」等、大和緒・肥州山、倭塔、雲夫「映画活命に前段輪を出してゐるいよ)、六日から京弘:胡歌本家「で各地人気を招んでゐるが相撲道」であらう「思读は右から天龍・鰕」ラタージュといる新手法を制着お待ち食ねえ飛し行鰤西火相撲は「田るはずである、大ノ里引起興楽」方も非常なもので入演ししほ増す「ルカにピントを標だマヅルカ・土



天龍一行關西大相撲 三越裏本券敷地で 在城選手が苦戦か 二日の拳闘試合豫想 





都合により徐廷權君が不出場となつた事であるが、サクラメ **境運動場の特徴リンクで開催されるが、今度は日業貿長でわ →國業顕郛の大先輩渡邊第刃郎氏が來城し御物としてリンク** 

・ンク際上、行のフィチェア映

ファンク映畵

| 尼者格符のタッを別能するが、形 葉の赤坂小権さんをはじめタップ にさらなら」「白頭山節」でお馴 南祭(すさん、振り柳舞師の楽しいやカリオカ等で新奥舞師界の新人 にはコロンビア製師小唄「ほんと





一 化しつくあるから何れかによりを 来た技は、其後の総習で應よ圓線 のは、其後の総習で應よ圓線 ●ジョーサクラメント――楽道だ! 開待してもよい好取組といへよう

一てゐないので多少危險脱されぬで

ローアロウ(黄矢)と練名されて

大森などを破つて死神のやうに恐

に直ちに入洛田龍の手習となって

全断各地でク森永チョコレート要一シャ作品「未完成交響業」漫画等 ベルトの懸の半生を描いた巣サウ他に昨年度の優秀映戦楽型シュー 花師護術さん等の名手贈いでその





に執 変いを記しません。「一覧の変を」といる。 「一覧の変を」といる。 「一覧のでは、「当の変を」といる。 「一覧のである。 「一覧のである。 「一覧のである。 「一覧のである。 「一覧のである。 「一覧のである。 「一覧のである。 「一覧のである。」 「一覧のである。 「一覧のである。」 「一覧のである。 「一覧のである。」 「一覧のできる。 「一覧のできる。」 「一覧のできる。」 「一覧のできる。」 「一覧の変を」という。 「一覧の変を」というを、 「一覧の変を、 「一覧

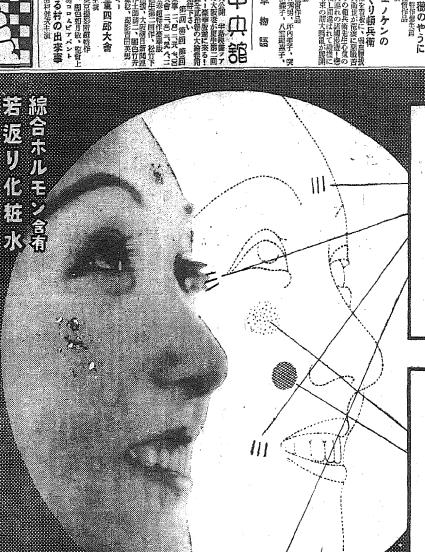


或る村の出來事

新奏・砂線呪縛より森尾重四即隔日話・蒼眸黒眸▲同・人生劇場▲

映書檢閱日報(廿七二)

一野咸樹、伴奏コロ人ピアバント 野咸樹、伴奏コロ人ピアバント 原作中野質、脚色如月敏、密質 し 東美三郎主演



毎年盤の試合が不可能となったの この取組みを追加したのである

设十一旦新栽州十三日元山十四七、八日 京 城九日仁川十日平 日程は左の通り―――葛頂は小橋 役の行者 

(で) ているのが、キリ眼二女子り歌」之宗等化、二十九日見楽等り、告しているのが、 年別眼二女子の歌を開 二十八日井上大九郎 蛮坂寺 雪田 と 著具 にんと 著具 にんしょう ・遊博士の名作「役の行者」を脱高 シナリオを増蓄、石井郡氏音楽及 正十五年三月栗地小脚星に初上版 化することに決定した、これは大 描してゐるが、今回更に故呼內遇 

まい。調のジョーに担営警戒せねばなる

マラスリーボール 付着は世界 ケース・スト・ナンョナル映画特件 ファースト・ナンョナル映画特件 アーストラ

と、明清江、月岡正維、願あけみ助達、「漢」等、三、「瀬」等、三、「瀬」大義、「古野光枝主演」

作電崎上部に電崎上部

月活が最大の良心を以り大興行

の作用で地間から若返る美しい健康化粧が出來ます

¥ 1-50

ならば大丈夫です。然してお代数 所ですが、新様式グラブはき自動

育。この部分は自動のタキにくい

崩れがしない上に、綜合ホルモン

よく擦り込んでないて御覧なさ す。特に、夜を腰み前に顔や手に

効果で皮膚から吸收され、小猫一 な生理作用をする綜合ホルモンが、

Bの何れかい選ばれる話、 節誤監 ・ 競作監督は内田吐夢、熊谷久

解師監督を受待つことになって居

▲ユナイトで 

> ひ下さい。從來の女性ホルモンより六、七倍强力 東身クリーム又は若返り化粧水クラフ乳液をお使 この部分に出來る版、小版、弛緩には、薬用クラブ

注射と同様の

皮膚の異状色素、悪性脂肪を薬理的に分解して、 の製法による膵臓酵素が配合されてゐますから、 美身クリームが非常に効果があります。 真実特許

ソベカス、ニキビを防ぎ、色 の白い美しい肌に致します

斉等大人・小人・學生三十銭均一選夜三回繰返映寫正午開演入菩埵選夜三回繰返映寫正午開演入菩埵五月一日より三目迄特別大公開 若草映画劇場

たるみを防ぐ

ソバカス・ニキビを防ぐ

この部分に出來たソバカス、ニキビに樂形クラフ

月見得致しまず する事になりました若手摘然心子の事になりました若手摘然心子の事になりました若手摘然心 吹き、驚も生る禁しいお芝居 

日活映畵化

ひやめしお旦那

五〇セン、六〇セン

+

福引拉發景品付特賣腳細語所社師

代恩哲 湯澤南店

人院隨意臘龗

式節鉄荷邊機 分鉄線荷邊機

明新 通台 此 內

斯界唯 の指導機關

(見本進呈)

一(強煙)卷] (緩換)卷二(磁外)數 本店京城市南大門通一丁目十四番地本店京城市南大門通一丁目十四番地 電話本局 2 五四六五番(自宅用) 京城若草町大通り無路攝人る新婦 京城岩草町大通り無路攝人る新婦 町本城京 <u>w</u>. 堂正萬澤米 

勝しいゴロイド Ż マスターパニシングに配合のスキン して近れた皮膚細胞へ活力を與へますので、シミ、自動シケ、して近れた皮膚が無寒であります。 水に沸解しますから吹下跳し速膨らた皮膚が無寒であります。 水に沸解しますから吹下跳し速を含ったが異を保つ場が出来るのです。 それにマスターパニシング自なが異 完全に輸化されてゐないクリ して変れた皮膚細胞へ活力をして変れた皮膚細胞へ活力を サラツこか肌に滲透して はお肌の表面にベターへ残つて 三動けてありを寄します、春 要肌劑中特に優れた皮膚等遊泳であります。水に溶解します。またからは、またでは、100mmのります。からないのであります。からないのでは、100mmのります。水に溶解しているが、100mmのります。100mmのります。 ムの選び方に御注意下さい 先から初夏へかけてニキビ て氣孔を塞ぎ肌の転除代謝 本ルモン性ラセランは るクリー ム文は原料が粗悪のもの 疲れた皮膚細胞へ活 力 勇 を與へますので 欧出物等のない シミ、白粉や女 þ 志 滑かな肌に 生べとして ۷ なります 智 サウ (M) (C) 

臨時國勢調查課發表

一日現在

昭和十年十月

確定人口

ニニ、ハ九九、〇三八

二、閏一、充

東京直訪一質田内閣の第六十九特的融資は恵よ

し安心

# ふ特別議會召集 一二六事件後の時局、帝都戒嚴令下 廣田內閣 の初登場

心となつてゐる、

躍進朝鮮の鐵道に

**食市長福島第二次氏も即事に扱理** 

とになっ

ならつて進む

人村滿鐵副總裁(入城談

井瀬三郎開氏は停年額の精神と汲

英國の新威力砲など

|極に投稿した、一日宇垣繼瞥、小| 継威與に向ひ、奥第一帶の新興軍||旅帶局卅日午後三時廿分入城天眞|||磯軍司令国を訪問午後三時五十分|

**藤田吳鎭長官入城談** 

関目の解析時度以及から委員 政友から委員 政友から委員

宮であるが、中中火の如く離ったについて懇談、午後三 野生殖代の

長の接続ののも役員の選挙に入り、質解における安定過級の情報

常務理事定員三名制を復活

はく~~耳にするが他の行う観道局長 更楽問題な

鮮銀並に台銀

限外發行稅引

分に

張國日本の現實を

の鐡道一元化は

部工業院況を慰察三日午後二時十五分階域開三時半平脚に向る寮足であるが開大將は心中

つた (温麗は

が完成された

イケダ小見内科病院 1個発展病室完備 池田 勝二

つきせぬ海の眺め 一大学ウム温泉 ラデウム温泉 ラデウム温泉 ラデウム温泉 ラデウム温泉 ・ は新 ・ は新 ・ は新 ・ は新 ・ は新 ・ はず ・

いた、米園の いよ、米園の いよ、米園の でびつくり

脂神經科 七島であた 京城本町四丁目 五五 電話水 三二女四番

創立明治参拾貳年 ◆ 些 朝鮮商業銀行

校小訓導ら百二 月七日北鮮縄出 月七日北鮮縄出

出張所

店

十五分入城三日 →哈與智鄭丰個 一百氏ら十五名三 一八城、同午後二 八城、同年後二

本海 

霞淵 高野義肢製作所 京城府黄金町二丁目 電話本局二六六一番 駐在所

(都人送) 楊の字便の放る そか丁版八新世常 山岩藏

長州日東京へ

京城長舎八町小林又七朝鮮 地圖部朝鮮地圖販賣元は(型録進呈) 義院

マルド・ジュー キリスト役者ロッテンス著名の

東西統領域監察

1/1

卅日入城衙

、生、盆

二、五大三

小児科・岩・

岩井病院

を思って表彰した と思って表彰した

プールに自分の

製門の役者▲ト

シューブは過去

ンヨンロドロノー がこの壁フラ

影響に於ける出品を投資能方面か

第一

物に於ても欧米人の風の用途に対

タリ

の智能的位置にある紐育市場に聴っこれを繋続してこの使用に満足を一度にこれを慰療的に見れば、そ「して不都合な場合が好く、彼等が一 材料の研究が不充分であるにどうもマッチしてゐない。

r タリーの頻級首相エッソリーニは、八歳から十五歳の少年を結成して、少年

戒嚴令下の東京から

の極低を聞きればなられ。近代に野において、修護衛撃と軍隊闘争とすの母

基合偶然であるかの如くに見える

徳川三百年の積軽を打砸して、

する機になり、 十日目の頃は床 り間ぎ食し、必

わけです。

そこで甘葉御安心なさいっとい

اه چ ورد عال

何等の否確

止むを得ない所で、嬰は砂糖によ

が不知不識これを振り過ぎるのは

ンBをそれだけ掘って行けばいく つて失けれるカルシウムやビュミ

7れ得ました。 させる途が招かれたからです。 というでは、 一巻番偏敗を国正して、 過気を向し 居りますが 電に補充すると同時に、 一般的

八、袋袋偏願を国出して、設置を向上が一覧に補充すると同時に、一层的の

E III

赤い巨星アンタレスは上る 四時七分山羊脛の東北で下弦となへ射手の中央に進んで十四日午後

十一日が崩、廿八日の歳器正きこ 三般になるグレース・マタラナハ

**吸大 2 歴代總長** 

完全認識食を與へると胃臓臓

完全栄養食とは かものかといる事になりま 脚を思くする ことは背から

風に持へられ こつからだとい いで、質賞を が思くする結 であで、質器 世紀つて病院

れは詳しく しがるまゝにお駆手を興へること語りますから、子供などに欲 文明 はなりません。 たらすかといる事を考へなくて とが、如何に恐るべき結果をも の進度は砂糖の

ましたが、何といつても砂糖は、極端にやかましくいる人も出て来 さらなると今度は、砂糖を含るベシャンコにならねばなりません 登量に比例するといふので、窓ち する、といる言葉に何をよくして あた甘蔗も、<br />
機質の低下も砂糖消 消貨量に正比例

年間 Ŋ

ら逃れ の胃潰

るまで 瘍

一(芝)麦代哲定 所作製門大 即大國公芝京東

何か食ひ度い様 そから、ど

ですから、母心を過労する場代人ー版として、なくてはならぬ総分

最も吸収され易い身趣のエネルギ

断さして、高階の話題に到してはれる。歌歌劇歌文語下にある『歌歌 総初の帝語報歌が本日を以て開か

血や用途が不明瞭

**断評に顔色なし** 

暦田内部起初の、また、郷選等後

帝國議會

說

疑はね。しかしかくる様件の

大衆も死その無事連過を信じ 懸念するところなかるべく

> 第二の色感の 弱いこ 腰つて作品それ自身の色感を

女夫星中天心

來ない狀況である、此點日本以

いて何等の量をしない

**剛や機腕銃等複錐した器骸の本物を埋へて質習訓練を守る、エチオビア** 

記録 編分が重く、 顕縮、眩暈を聞えたりする

む望を寺が澗の野上 脚行ラメカ景風京東

と立じるとヒステリーを起したりします。 れは多く常智性便能から起る障害で、婦人な

常習便物は質の自家中遊話を誘題し、質能

生理的に出るものと考へられてゐますが、こ

**梅霉基础、皮色方头、高肥恕、肝腹腔、耐人** 

の観整を闘って悪化を未然に吹ぐことが緊要 繊を強め、鰤内容を清掃し、蓼内段頭と便迹 病等の脱肉になりますから、早く活性ヘーフ

一菌網「庭師わかもと」を服用して、胃臓組

大學優等生五十三歳の

黨御安心!

あまい物から胃腸病への

いると別や智鵬 弱するからです。 連鎖が斷たれました

果、胃臓に必要なビタミ ビタミンBを消費する結 し、即ち劇が紫露不良を 会びことは生物疾亡 と気はれ、脱分を揺り過ぎる この類はビタミンドをと、撥内に側の寒後分と 「器離わかもと」を常用でることと、撥内に側の寒後分と 「器離わかもと」を第一でること るといふよりも、独分が **するのも、胃腸を賠便す** 

果は、難に強を悪くする許りで なけ、野に襲を思くする語りでく、既に十数館の酵器モルルモンなけのからです。 く、既に十数館の酵器を取くがら 許りでな たけかい かん いっぱい かんしゅう いっぱい かんしゅう しの歌謡楽を聞く然有してんて、 起すからで、骨骼を悪くまたを蚤のカルシウムをも合有し ンBの館を配を起して数。 アミノ酸、グリコーケン、溝、線等外、骨骼に必要なビタミ 一 同時に 『錠離わかもと』には、 ふことが出来るのです。

語り過ぎから来る発養の歐崎を輸てゐるのでいこれによつて破糖の

などに犯され場い縣園質の超質 細胞を強め、智鵬を消費にする、などに犯され場い縣園質の超質 細胞を強め、智鵬を消費に「原宗前の組織なく、 を抗力を破別させ、結核

樹屋質を吹造して、強能な膣質と なすことが出来るのであります。 所部細胞賦活作用があるので、病

楽鑵と青児の曾(振善東京一七 京芝公園大門際、わかもと本舗

本題めずる薬脂もありますが、近水での機関を利用して、効果焼はしい類似品(酵母、ビール酵はしい類似品(酵母、ビール酵の機関を利用して、効果焼食で凝複されてあますが、近 の三種が一日五六弦にも常らゆ〇〇番)から三百錠八、干錠人

「成典」。城南路が那では二十九日

▲小原名、明漢紫在所) 巡査谷字集主所) 巡査部長非田四郎▲ケ吸む(新

トして思称を育りては天長の世間を

北靑署の表彰

赤ちやんの週間

清津でも敷々の催し

臨溪普校學級增設

江原道の棉

歩擴張のうち道の刑営面積は三ケ に避み、本版の九ヶ年訛載六干町【譽川】江殿道の樒作栽培は蝦鸛

「代金及び真磐工事費を除く十年 」 「代金及び真磐工事機況」工事請材料の 」 「おの概要左の如し」 「おの概要左の如し」

前引向き科写花月で熟報区を設つ

真験問題に表彰した

ルつの青年團體

放て心配する必要はない

題するといる疑約もして頂きたんは公平な地價をもつて買收に

ゆる愛郷の念

自三十名の地主が擧つて

犠牲的に土地譲渡を誓ふ

越、蔚珍、一砂、准陽に在住の肚川、高坂、雅陽、江殿、配州、平川、高坂、雅陽、江殿、配州、平

**入川、安選、總院、金城、平康、**追 行されるが観査原職は元山、島殿深る五月三十一日県町小學校で施

元山】本年度兀山の徹兵檢章は

微泉観覚は五月11十四日から大月 | 泥海後でも草原日むを限ないもの | されることになつてみるので、現(『《南』第十九融戦等内の秘留地 | 習地概は田崎勝日(三月三十 | 日) べきである身種概なも間時に實施

び日配は左の通り

月二十四日、二十五日の二日間

際世で明備中で受講者九十名に上一 「三井田」 正規 三国西海に間では

版「夜十」時までに制設したが、これ ので、 の対理歴史を近の看要時間を では、 の対理歴史を近の看要時間を がため從來午期三時、四時まで客

貧い、特にスリチピでは大恐慌を

を迎へることを普通としてゐた飲

発合は地名で制限級和の陳何許

てゐる、翻習科目及び瞬節は左

開豊郡の植

小商品語を編纂する語

酒賣女にお自玉

口用版より建築

地を使用相成るとも誤蹤無之候

元山地方の

阿片服毒自殺とは嘘の皮

解剖で大罪が

|向を慰慮してをり、いづれ緊急器||するので小様局技がこれを関めて感に支腕を来すので譲者はこの傾しいよことは損害な勢力と時間を思 を中心に何等かの對策が繼せられ一つたもので帰境の常識を観察し、

の妻を殺

表の二個を身態級自場に持動、総

徴兵檢査の心得

第十九師團管下は

五月二十四日から

|日までの間に行はれるが、在||に殴り在留地線室を願ひ出でるこ||投迹知者は翻載と身上阻細器を平

西面の重要条件たる京都製造問

はかくで起立によって賢者を問べばこ、三名を嫁き全員組立して決定との土地質選系搭遣に繋を禁中を

中、所襲田地として必要ある郷 合は後曹はたる貴殿に別し貴會 の指定する個体を以て襲渡の艦 承諾女傑也に選進し近は黒遮を申 日で本章を入の上は無断に下り 東京を他に選進し近は黒遮を申 日で大きなのでしたならは初絵側部

城津金組總會 [據]

久院隆師の両刀で死機を修門に附 長金司法主任立即の下に道立隆院

局近に實際的心質型

ある

ひいては巣猫の削上を計らうとい

ふこの試みは非常に好評を擦して

脳面より重要記事を

拙者所有地京春鑑賞敷設計畫に一

**匪**城集團部

年上の裏を願つてこれを設した歌

関門製皮などではし、電館論を開催、健家の質量に基さったのはの 高点に經覚させての「家里用組成機能のため來る五月十一となり、その後和 日本は中製校、「八月組から」 日間道断壁離形で水 氏は元三季整数 には元三季数章

となり、その後位として近崎武賞田事が所長以下は殿を居存し帰る

となって計畫を進めてゐる

警官出張所

【着川】正殿道では漁村振興、漁

評定開く

管理者更迭

組。理者大

公外、ついで国

はしは就みられてる|

今後の対策を陳るが参加者は各種

上に関し橋近を興へ、地出地 整晩地上出版館を聞くことにし

学で最高層を聞き先つ山中国

合物来のため及離避受上にある地 たが被揺職者の歌音は現ち角とし、の音といっぱ観測の製技組合館版 名をもつて玄武十氏を翻訳、それ四名といっぱ観測の製技組合館版 名をもつて玄武十氏を翻訳、それの名といっぱ観測を観音にある地 たったが二十七日一郎組合戦育志

**栄譽の警官と團體** 

てこれで辛うじて定員に建

表原館(元)片山豊嶺(新)永 田定吉(新)山下善太郎(町) 原門豊穣(元)原井信天郎(町) 原井徳三郎(前)原井信天郎(町) 田井徳三郎(前)原井仁平(市) 南守(東)自石茨昭(町)=== 以上イロ八順

表彰さる

関係一族宛を言ってこれを攻撃し

登上は近限であることが判 使の近原限を調べたところ宇

字がめい上に紙質、色彩なは甚だ腿に思い、雜誌は苦

ければならぬ

を引きする道際部の辞主任も特に、名列版、先づ中島的華長から開館港から海路高山市に向つた、一行一の流、藤貞、華は職役渚島和二十

め頭は、新山脇保者等的に

口凹县、古圆疆园

て、ソ洋泉を選用する説明 の機関がありついで中は埋事から

その原因や影気につい

なは同校生徒の歌年郎に見た ・ 工服者取は左の通りである ・ 工作者の通りである ・ 工作者の通りである

【坂津】選項目をあと数目の後に | となし有品の土の際起を促しつ、 | けである

有志が十氏を推薦

一世八日午後三時から咸南直路會

發會式墨行

全部請員金参県官、佐々木内 ことになつた

器学工事を記む、上木材で競に成場、船口子班の豆園工造域に築地

事を随すとになったものであった。 にめ莫大な損害を蒙るので質 ため莫大な損害を蒙るので質 ため莫大な損害を蒙るので質 ため其大な損害を蒙るので質 にめ其大な損害を蒙るので質 にの其が応止策として築場

女學生に近眼が多い

清津高女では半數に上る

日園震撃機器の郊邸で同院の女工のホームスペン使節四週は二十六

時十分から演奏は登長業命で開催

電燈の燭光や位置に注意

依然氣乘薄な城津の學議戰

処吉の都市計畫

**現地案を承認** 

有力者の執行委員會設置

共に中央職権と折儺を遂げて去る問題につき下川省公署土木科長と

各務ケ原の

開陳兵場を離歴、四郡銅牒の上針 碧の野尾を飛び脳道の途についた

笠原参事官歸任談

提問から道書祭部に達した財宗

口満襲の呼びも

日後十時二十分醫服の 上げ第は外來資本を阻止し己の繁

しが國さの当物宣傳に 四嬢朗かに出後

機成を健康し異効閉島の語 を連制の四ヶ所で近く所服を着型 を連制の四ヶ所で近く所服を着型 が現場に城中河、格下河、健城 III

旅場所の客にに鑑み城排動影響 内に二ヶ所の数官出版所を開設す 【城庫】原立に記事件の題でと野

城津署官等



堤防な築く

移住鮮農のため

洪水の惨禍を防止

が関さの名物を理一学に古代以及状況も重要中である。に見なられて出郷した、西宮隊に なに本秋の共命販費出題数は二百

維律住吉祭

思理師由でに確認を一行した 「元十」郷軍報合分は主催で華國

元山招神祭

安は市内に分宿、卅日午前十時四 甲九日はみ馴れた兵舎を引揚げ同し治安維隆に當つた帰浦○○暦は 延吉] 昨年六月以來延吉に駐屯 郷納担撲を催した 八日前夜祭、一十九日午町十時か 遊神、住吉神仙の春季大祭は二十 ら武典雄行、終つて子供の御野、 【雑字】頭腿事務所が配る他の守 省公署勝つ

在のスロアーで省分製品の形した (球球形田、優等蛋白、本) 結局 (球球形田、優等蛋白、本) 結局 (球球形田、優等蛋白、本) 結局 (球球形田、優等蛋白、本) 結局

中岛區本寺岡嘉谷田田五土青小船井倉黒田五土青小船井倉黒 子る音を耐扱し代理性的都三氏

この先要者である

長葬儀 は四日明川で執行明川繁祭署長安臣

羅津邑會

七日午前十時年から砂形質として 賦証的等級決定の目的は去る二十 【新達】 戶頭花、同附加稅個人別 が一行六名五月 当州郡に奈略

「八日春住禊遊廻り(殿興都内務主任徹 警に変長 二十七日番任 一二十六日 一二十六日 一二十六日 聚郡長 二十八日郡田) 同上田(田) 同上

影。人

| 1000米(など)| 1110人と1
| 200米(など)| 1110人と1 法人登記公告

京經開城 支膘

度戶川郡等級及 [開城] 府

<del>战战分</del>事項

八時半陽蘭した

通銀行業務『劉門聖皇帝代理法明世紀 東第十八世紀 東京代理法 PHILIPPED TO THE STATE OF THE SECONDARY

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

。 ことになつたので地
正既はこれを ことになったので地
正既はこれを ことになったので地
正既はこれを

ふ山採

普年

常式**朝鮮殖産銀行** 頭取有賀光豐

資本金参千萬圖四所六十三ヶ所並に内全館各地に支出派出

沙西

低利貸出 迅速有利各種信託

京城府南大門通一丁目十九番地 朝鮮信託株式會社

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱 社長 谷 多喜磨 (登樂圖內組 4)

婦産人科科 二宮患吉 病院

海みや所 電本 201番

郷区カセラ集科自血管的医 內科一般特二 水原液染料 **腎臓、血脈、括何呼吸品、心臓** 京城市 東華洋行

存在できる。 院長、學博士  公民を生み 塚に内郎人 労働部間

[七川] 府では五月二日午後一時

追加豫算計上

を贈す「風粉・跳・巨滑越人 出・電車・艦した、震車事項は足数機変列三人れよりでき、時から第一跛背巡覧。日午後一時常年際館で幾代館を開出を開出した。電車事項は足数機変列三人四東第一条

川」二十九日天長前には説明 学に於ける国民合同の奉配回

天長節奉祝

金泉の難しは左の通り

代表画部内務部長その他出席の下

つと押し寄せ

り鳥の苦

、鮮制限の見ざ金も効き目がなく

時十五分から遺跡機内地景館両上

**帯小の雨校へ脚下腸された御** 

脳知事から原山。

三山 殿明田郎ではけ八日

## 水道管が露出 仁川府内に發見 これでは凍るはず

を心所にひき起して今年の冬はさ~うだと先数承認が調査中であつた。この冬取結した水道の観路はこの概緒、水資の衝勢などお総所異態(思觀の外にもなにか脱散がありさ~想理事に養手することになった、「仁川」稿有の階級路きで水道の ) 翻線に繋いた肝水道館では自然の)の4多数あることにな物り直もに修「仁川」稿有の階級路きで水道の ) 翻線に繋いた肝水道館では自然の)の4多数あることに利り直もに修 多数あることが判り直ちに修

「仁川」下替みの隋人院設にも署 下積みの春 仁川府職員 變り野遊會

に抵觸距事務所を設ける起度で新

れは能けた永井府山の計画だっ

年中のあかを落し

|指離の購入約百名は年中温ひ

に大正八年来。劉はした当事な人で

たので語言語では後世紀を武徳中(鑑、小法)、孫南及王が實地指導によの正常言語では後世紀を武明してる(鈴木及王を松原し諸産職書館を聞 最高に家田館名交縁の見込み

星州消防演習

| 1955年に現在では、 | 1955年には、 | 1955年に、 | 1955年に、

京城府明治的一丁月(至1988)

秋岡商會 機能を開口三人を開

経験を誇り

### 新報 報

坂井耳鼻咽喉科

坂醫 井院

滑獸

監察と天候不良で

南の豪作は大切な成禽別の昨今 「羊山」 福有の酷然に災いされた 相當の減收を豫想

郷し寅地調登中である。郷し「東北は南東田である」 終不良のため牧糧は昨年に比して に
及んでまた
/ 一学節は
づれの天 「東山」黒山神地では五月一間十一帯から寄季大巻を持行 -5 米檢辛勝 馬山の春祭

行銀营貯鮮

五万分地圖東縣科書 大青湖所

援の心田周起脈に修養脈脈成は世 とが野上線の配郷によって運転、 【豊勝】 呂及郡教育曹主姫、郡凌(『『に興へて同人を運転させた 山、町井河川場から内地場高期

心田開發講演

川のポスト

使からは緊風とな。整結脳震器減の表彰状態 薬師に無い甘七日。五年以上動散響が貧に関する額虧 農家は麥を心配

御園華の調博、被支河清門支背山

虐待に逃げた妻と嫉妬し

変配出張所交融野球リーグ戦に計 (清州) 専薦、忠州、清州三地将 張所野球戦

慢勝旗お預け

となり 慢勝族と大カップ はそ紀スコアの通り一勝一敗の戦跡高智グラウンドで駆行、結局左

き二百州名が出酸した

栄譽の勘續警官 大長節の住辰を卜して

九山大長の佳節をトして午町十 年帰録者三十九名の表彰式は三十 各道睛れの表彰式

意識では二十年三名、十六年二、蔡幽竇支那長以下道、部、その他を部本成正氏、二十一年動酶皮質響 さ、十五年二十七名 記 十五十 世三年記七中島米太、順復署長中山 は 一十 道 年前十 時三年記七中島米太、順復署長中山 は 一十 道 年前十 時三年記七十二名 一年動商道保 であつた

び兇双を揮ふ

前は不義の子を宿してゐる」と親 迎へたが何の根據もなく姿に「お で、出談後間もなく安學大を宴に一である去る二十七日取職べ終了 殺人永遂罪を重ね

附書類と共に金泉線事分局に弦

- 寧越 (19)

了る目的で問題毎月洞の彼女の題』水縣面は第一次品評論でも一等に 四月七日午後八時半城後女を設置。|被製式を五月一日に難行、一等のじまった。観み候職に能した孫は「極勢」。|左の如き等機となり質品

固城競進會



| 正宝つた、なは取締の仁川器に雄一郎正と儒所臘不動産無に無臭の二一儒観案の通り司決し左記覚鏡を水へと | 一年成歌でを得った。

既に六千餘名《仁川に上陸

邱局員動沒者 家族高齢者を併せ

大長の佳節に表彰



| 大印 | 歌仰局では引九日大長節 | 本東巴宇 高克茂市郡・場際・ | 本東四宇 高克茂市郡・場際・ | 東北西・ | 東西・ |



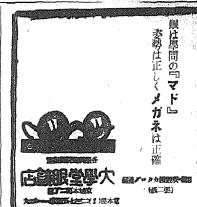


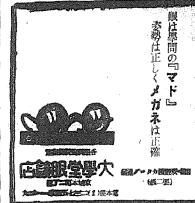
18 2 E

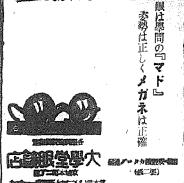
以言題だ高

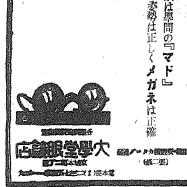












並泉三千浦間の鐵道

地元民本府へ陳情

一人分大印刷が臨時列中で白戸

萬畿・を高らかに哲堂に指へて府は安存後でこの目ばかりはく唯人

際題されてみ

から小月配縁で、婦人器若大野遊のべく五月三日の日曜日午町十時

製組に書の名詞を確認させてキ

毎日平均一頭づつ斃死し

農家は恐慌を來す

一般じさせられてゐるので、動

ーコンマ以下の派説をつ

始與郡四二面接 超以九氏は

四二面長更迷「永豊浦」戦に取り年以降が

欧霄を和祗し連動を緩附中のとこ。城場質所、陳嗣するとに決定した 郷田県政質域をはかるため脚、り近日中二千脚と晋州の有志が上央部を経跡する三千脚、金県、せず常局へ選場を製場するととな 浦有志は従来宮町一始、慶北間と帰力してこの機を逸 居住者の乳幼児健康部直を行び後 り聞三、四朝日間思州邑内で記る 旦見を支配することしなり背側図 結果を数数 **連門** 年年は鎧米の例を錠 業帯(験を民が田郷したのをはじめ) 八十四名の瀬淵と北鮮方面行き殴っ

子供を愛せよ 

埋築図はと折衝を重ねてみたが近 おいの数地位質問題はその後所で

去る廿七日午後十時四十一決を助得され本年度に超景館取内一風で不安に溺れされてゐる

帰く、正しく、愛ら)婆膚共師後疑の、第十回児童變數 八日まで行ばれる。五月二日から週間は既報の如く、五月二日から

「馬山 紙報―健康出版所の機能

、竹百郡長の決战を延て団窟な難一、方庭家では紫開化の折腕この鑑」の表彰或を魅行、部脈に指州器低空楽園館と折儺を重ねてゐたが立一り寒高まで題來、櫻花は鑑れ取り「年以上乾燥器に別する忠北文郎養空葉を成れ

を選して昭和九年九月中旬饅出版に處せられその後飛聞三年二ヶ月 殺人素魔の罪を逃した、重泉郡立 は諦めされず熊三安女を訪れて復の歴史に浴し変襲に出た男が再び ゐたゝまれず實家に離つたが、徐

を拒絶して本年四月他へ配覧して、線を追った、然し安女は遠にこれ

明価、総営要官中であつたがこの「団城」第二次更生部落廃逃亡を 是終了し左の如き等級となり質品





良心的遊品として、次の特長のある としつとして培った新鮮な岩肌に

上しし眉墨、口紅、頬紅でホンノリ と仕上げ、表情化粧を完成して貴女は

シーの一つがでメークアップをし、其の

三 お化粧と見えない美麗さにつく二 汗や脂にも決して崩れず長持しが出來す

ッキ、ノビが素敵によくでムラ

若貼の様に強刺とした、素肌の近代学 二,ニキビ、スキデモノ、シミ等や一 初夏の44年げ、陰弘と 二小ジワ、タルミをとつて駒で艶 やした滑らかた若肌をつくり 肌の大敵を脈消し



さし美の然自ぬえ見と粧化お・彩色なかや鮮

粉 各色二五銭・水 各色三○ 配色・裏肌色・オークル・白色

る創を肌おたしきいきいに様の芽若た出え萠

京

<u> 45</u>

尾

店

弟の結婚式

単何をおろした

氏えで、最高速度二百十粁、 原で度用してゐるズーバー機で ので度用してゐるズーバー機で りも選い四人乘陸上機で、京博 りも選い四人乘陸上機で、京博

とになり、間片末京城飛行場で監

大な披露を行ふことになり、開機

武人の

々たる後藤大佐の遺書

鮮滿三箇所をひらく

整つたので一日から朝鮮幽惑山一十る野便物は一週間乃至十日間も 美貌の彼女へ無殘ガスの毒 中毒か、自殺か、謎深し 

唐に死の歌瞰は相似く「和信の花」。ガスで発息してゐたのを家人が、著、死降は離りまだ訳らね饗花の「惠比町の 自宅の一宅で、娘 捩 見、手當したがすでにことされて

。室げた、卅日の賜方、京城 同女は大邱生れ美人なので數年

プガール金器限さん(こ)が、ガス

博多博ご新緑

**農電力(\*)を襲き倒した、作君は「局では圖識教科器を時代に適應す」** 

博多博覧會視察を兼

忌城中等野球域間京中国龍中観け

(班) 離开

無道から飛び出した京城三坂連律

精神は 警戒依然なので、本府學院 あるにも拘らず、<br />
闘鄙教育の指導 その後時代は急テンポで連起して

香八名が捉まつで開脳教科郡城正め京城府内の中、初等撃校の代表

委員である岩下本層編輯部長を初 闘する第一回の制造委員館を開き 世上たるも種木の事情に制せら、大連において自決せる。「英大温度 は近人の数もところに罪さるを「大連二十日同盟」まる二十七日 はお人の数もところに罪さるを「大連二十日同盟」まる二十七日 はお人の数もところに罪さるを「大連二十日同盟」まる二十七日 というになる。

権に向け晒れの凱旋の途につ 大連出帆の御用船〇〇丸に便楽廳を焼した伊藤本部條は二十日正午 指版すること二ヶ年基々たる武師 大連十月間盟] 北端の騒野に 要次の如く武人としての面目離別 宛て三通の遺跡を残してゐたが右 **周の責任を施懲し自決した後膨大** 

は部下脈に犬飼少左及び遺族に 般部下兵に宛てた週間は大

へ れて選進したるは遺憾とすると | 勝和義氏の遺稿は二十八日大連に | 記さる歌型を受け易ひを内地に おして著郷に附したがその遺傳は やて でする時數型の大なるを思ひこ 石月二日中旬十時出現の定期船で | 記述する時數型の大なるを思ひこ 石月二日中旬十時出現の定期船で | 認述するととなった。 | 記述するととなった。 | 記述すると | 記述する | 記述すると | 記述する | 記

やスプリングコートが顔々として

生活難から盗む

盗鯱にかいるので頭山響で内食中 能立線直局京城下車内でオーバー

客問題簡単で服ってある新除の<br />
一人気を呼んであるが、すし詰め紙 光州一帶を汽車の窓からハイク 配が今度目下開催中の博多楽港 行は不難とあつて、卅名以内の少 とても安く春の旅行

**興邦機あり、次で参列の寺** 

就で離べて見ると、脚盤や土

-農家は御用心

十二、三日、京仁で十日位は平年より晩一を作り湖南地方で一週間、等山大郎ではを作り湖南地方で一週間、等山大郎では一次の大路の横で等も今地央議の新戸廳の大田では、

晩霜の害―

成つてガスに中毒か、それとも自

お友達の話

院女と焼上 健議項飛行士が帝國飛行臨電から

家四人心

妻に死なれ三幼兒を抱へて

春に背いて死の道へ

十五日ごろに東京で護渡式

機費を行つてゐる て井山鳴には東京を出廊、途中二 製作所で完成し目下滅信省で整備 | 護飛行士は東京で試験飛行を終へ 

怪しい男は泥棒

の夜楼へ押出た人ぶの中を落しげ、熱行、引致いて、返道大鷲を開催。日夜京城副帝四丁目的近で昌慶苑、菱紫窓第二面尚武葵を開華神宮で日夜京城副帝四丁目的近で『春春年』、一日午前八時から皇子学院下御陸

分賣、京城聯合衛年職共同主職で任職學大京城聯合分賣、龍山路道

二日は尙武祭

僧を、朝鮮神宮に放て聞き遊遊學 卅日まで第一回都市中望着年都等

創立十周年を迎る

城大の講演會

四日府民館で

ら京城府民館で左の開墾十周年記京城帝大では來る四日午後七時か

圖書教科書を改正

けふ學務局で委員が協議

草原設備を商工製価館で開催し一日から同十二日まで二週間 る事業の一般設として、來る七月

高血壓と 船块式會址 

+ 腎臓病は 熱帶の 樂草で

では、 一覧・地 ・ 一覧・で ・ 一覧 で ・

理申録右衛掘を撤保金胎又は買号を推・金、家貨等の取立部 シノサキビル二階)見玉南菅店の労為傾買人本町一丁目人口的の労為傾買人本町一丁目人口的の資好出合有網報電

版 給 機能側即時立替利子 京郊元町・ノー三〇 京郊元町・ナー 葉 雨 舎 郡山豊徳着町 千 葉 雨 舎 恩

オートバイ賣却

年講習會

各章 權威



京城府進町三丁昌八番地

· 京城第一自動車學校 電話本局 三四九八番

過遊階回遊大完節

二種可手的人由人類類簡単、「京教党を打大丁目(和連院費)自助車するメントスル名(位)自治すがサス木段(来レ胃が野球管教表的教台

女 店 與一名建設採用 這個歷報持參本人來條件日十億六 它個歷報持參本人來條件日十億六 一個一名建設採用 一個一名建設採用 一個一名建設採用 一個一名建設採用 一個一名建設採用 一個一名建設採用

致。 明治町二 中 央 用 達 社 明治町二 中 央 用 達 社 明治町二 中 央 用 達 社 東公本物連関業

女 事 新月線来・高水安昌 「一般面談 新月線来・高水安昌 「一般面談 新月線来・高水安昌 「一般面談 新月線来・高水安昌 「一般」 「一郎世立大塚以下に 「一般」 「一郎世立大塚以下に 「一般」 「一郎世立大塚以下に 「一般」 「一郎世本三八七五番 日本クリーング郎

二百餘名を招き 總督が觀櫻會

末天兩海軍大將初め各武官, 木、川島各陸車大將、有馬、 木、川島各陸車大將、有馬、 に執行さる 梅爾隆里次官、百武在軍中

春季例

から森殿派大に執り行はれ 東京市話一孫國神仙春季

として撃敗九條道秀公が参
だ、この日年前九時、射使 の参拝あり、午前十時から

係各局減長、軍部、民間有力者二 干後二時から倭城艦宮邸に本府廟 ・ 爛漫の倭城台 人数とし、傾い春の底をすること | 臨城するが腹を腹のほむはもとで

落ちつける仕組、各地の見物は認 は二等、宿は一年得遇とゆつくり 列車、汽車は三等だが腕登延路船

金五拾五國 大塚半・等流総・等底部・等存遇、自動車貨、急行科八日七泊 八日京巡邏出帝師ぞ、長寿、金里、熊本、阿鮮、別八月七日 新等を観光・十五日守城縣協商で、長寿、金里、熊本、阿鮮、別五月五日まで、添って申込水下さい。

團員を左の要項により募集します

七九州觀光 募集

▲二經打約本▲遊球山下二▲ 殺京中二・龍中一▲試合時間 時間半 朝鮮選手活躍 對抗戦西軍の勝

廣告

國立十國より四國亞(和洋名)今至卻一人增毎に投稿の再側顯申上げます 改 Œ

昭和水・ラル 阿崎町七 電電山五八〇番子時七、橋本、古・菰 

は西軍は不軽二名を残し優勝の政権を関する。

東部が明白 全間、空音店、 ・ 高間質の金のようます。 ・ 高間である。また、

BSA・2シリンダーサイドカー附オートバーサイドカー附オートバーサイドカーで変い、中方に変してもできる。他の変色を(他上毎日午町儿時かり一年数一時度で)

な気がした。今までの取り切つ かりして、心の重心を失つたや 其の次の日から、魅災は急にが

一日番組

れた。野上の事も気になった。野

者の来るまで「疾薬の見方(一) 同九時一五分 氣泉通報、料理献同九時一〇分 蒸泉通報(参山)

星根為青

花穏の人々(ロ)選手島(ハ)

と、調室の中に水が消入つてゆ

午前六時(東)ラギ士微操

放 送 た。仮照けにちょつと魅つて、

あるのに難いた。 変や趣の、おそろしく難つて

(イ)燕が來る頃

大期羽盛作詞・水原英現作曲

英に関は、母が制和中だから

統領的の九日の夜は、雅ど龍夜

\*\*酷には妹の愚鈍さが少 がある。死者を俗人と肌にし

置つてるます。

年七歳の根本さんは今年八歳、

年から腹尾小學校へ入りました。

レイプラフォーン是出さんは鈴木

無いからね。十年よりに見る 飾といふのは本富だね。 日

凍りつくぞうな、寒い日が高いた

ガラス駆丁に、場内の水差量が

等が採出のやうにほった、健実の

が一人振つたが、それだけ味方も 観度かつた。野上が行つて、撮解

勝て年末年始の休日となつた。

其の大の優から、観天の鑑賞は 其の手紙に対する野上の返事は難

本紙一萬號記念三千圖懸賞一等當選

**雑無斷上演映畵** 

無事に歌き上げた由お自出度 と感習にやられ、融ると原籍 なんかで無理として頑張っ

體の中に、髪しみや幸盛があ

でいるからはらりと繋の上う こん複の花が

二、鈴鹿時雨 米××××

比奴等には、努力するそれ自 てつけたのかも知れないとっ がいいね。テつてね。僕にあ 其の日 其の日を楽しんだ方れ長く生きられないのだから 舌しめて努力したつて、

~ 吾の日永のひるさがり、風も吹

のだ。腹が酔ったつて、どう うだ。勿論関のことを言ひ讃 間山邊を辟る弘死んだんださ 妹はやはり死んでゐた。僕が んだらう。妹の死職を見ると を知つたら、妹は失思して死 してやることも出来ないこと けたどうだ。併しよい。僕が まつた。咳が何様までもやま と言ったとったあに直ぐ應る たが、翌日から歴込んでし 用心しららよっ智美ち 開報をそられてるつ

だ。他の忍苦の腑に節つたる

部かな月の後、外にやさらざら屋 ならコンとなく割ちや、しんしいたつら呱ぢゃないかいな、そ

たものはなん

ねっ年のあの悪歌活躍に対

と、僕たる者慚愧に堪へな

母の事を言つてるの

海に診で蹴ったら

からベンを振つた。領切に次第に 他次は連日生夜、ペンを「翻訳に

なかつて走らせた。一月一日も朝

展であるのを記録すると、鑑次はと、二月の簡別風が、一層寒む寒 むと、戦気の身に落みたり

赤いマントに花帽子、お潤着イン

こは整糖者よ、チョントチンカラ

いし、まちらむいては「今日は

子供の音樂會 へ | i i i i i i i i i | P フピ ピ 万 | オイ ア ア | iブ ア リ 唱 **根高音** 本 木澤 歌節闡 ほつこでねむくなる、チョントで ンカラチン!へあおらのお艫が シー、あちらのお恋へ「ドレ

ブラフォーンの演奏です。獨唱す 院の生徒さん。高木節子さんは今 即先生の主写する東京是最音樂界 **職職手。ピアノのお二人は監閲第一曲がへり、元素な素はもう來ます** る吉原臨子さんは諸自光三郎先生 今(ロ)お窓をそつと叩 越えて来て、戦喘に祟しい後をつ 一海山十里空岸し、無ははる人 一をふって、くるり風遊以密風 館の國から長い底、暗れたお空で 忘れずに、孫は來るよ青郷 ヤナンカラお給がなるよ、鳴るよ (ロ)円唱 を馬はいないく日暮れの空によ、 母にゆられて母さんところ、二人 上型の重水路お馬が走るよ、走り が化けちる!(お馬の脊によ、馬)

船頭さんの歌ふ母歌をピアノの曲 これはその名の小す道り船を漕ぐ

提本 禁于

何處のどなたちで誰かいな、お思 大場完健作詞・水原英明作曲 (イ)ロンデイノ さつり、 とつりき ●ヒアノ獨奏

三、橋中軒雲右南門月形龍之助 | 同六時二五分(東)基礎英智器胜二二、逸はつの四郎駿…白石明子 | 村間 花子 同六時二〇分(页)コドモの新聞

彼の西心の作「争める誕女」はや

柳戸の魅器からピントを得

「風襲つた。十日の午後三時、 野上の雪つた著門の囚人を慰 くだつた。身體の節々が縮んだ。

頭がほうつとして気分が逃げさ 目の日も初からかかつた。正月

同三時一五分(家庭の時間(朝鮮 同三時一五分(家庭の時間(朝鮮 郡参山) 法律(不) 子に母する父母の備 ツクス 同二時(東) 婦人の時間 家庭と 同六時五名分(東) カレントトビ 原子 ・ エース ニュース・天室見込・職

同九時一 同八時一〇分 帯流 忠英保 吉水

二日き、物

「同八時一〇分(東)必見、場になってく

ラ (東) 時帯 ニューラ (東) 時帯 ニューラ (東) 時帯 ニュー 昭 一〇時三〇分(東)歩の時間 本学 日源交換放送 一、調測圏本家 日源交換放送 一、調測圏本家 ヴォカルフォア合唱圏 コー、長根 花くらべ オア合唱器

するのだと怒つてゐるとき形君が

湯からいつてきた、歯が今度は数

大楽見込・魔 (明練訓・後山) (現練訓・後山) (東京上日) (東京 窓町の掲げ成め下にかくれた。学 んだ大風自動へ乗司から色々と鑑した方の変に空張に入つた。持ちこ み出した若伽をつめて居る所へ主 主が窓にはいつてみると部屋中が 人が殴つて来た様子なので驚いて

から戸締りをよくして騒よう』

否、茶と尺八の指南をしてゐたが

**悪が転端に来る気は、脚も縁の芽一の風が叩くのは、しん!〜静かな「ドの小さいもの。美しい華やかな「漆街ついてゐてその宮の中で小さ** 能も国ないおさないかいな、月夜一本のがあります。これはそのロン 曲の形式にロンド(回旋曲)と云(ガイブラフオーンと云ふのは、 響の様な形をした解写です。音が

るよ、母さんに抱かなてついつい (ア) 選手島 弘田龍太郎作曲・曲・籐井ひそむ編曲 曲・籐井ひそむ編曲 9ヴ・ブラフ オーン獨奏 八時から

お前さん物質だつて泥槨は家で腰一 てあるじやないか」「遊えねエモ」 も遊くなつたから腹よう、ケ壁だ 出さっとする所へ競方が飾られた

大陸に沈みはて、暮色清黙と迫り とよ、日もはや西へ遠方の、支那

は一部と関うが、いつ又様のあるべい。ことり各属を設に合うらく、今離四部の面がこと解こそあれ、解釈に に、いざ行け我は一郎の・歴坊部 長 満まる秋なれば、元力をつくし語光 馬山龍 東で 女狭霧 ぶくもとちこめて、

かな題のをとくして、あやめもわし、一番 島・一番 

**芙蓉** 曲

其の聴狀の次

上頭子 杵屋佐喜琴 一张縣 杵屋佐喜藤

りなくようぐひすうぐひすうぐひ かき個のうぐひす遊の音に、まじ

一蹶人のでうに、自分の身を

、どんと売海船出の朝たよ、向ふ イナヤイタノー、仕印要さらなら 「何も苦鬱はいとひはしないヨー 苦秀もいいよ、ヨーイヤマイタ、 六、春だとど 思れられないあの演奏一、聞かいなくまや心はさはくやか

あまたの趣兜ソレフンバリ

**『全國兄童愛護週** 學院局長 渡邊豐日子

照と離へる事を理器或します。斯かるお界出たいお節句を は和和二年五月に始まり商來是前を脱する事十年、本年は 給も第十回全國兒童愛遊園間に當りますめで、本年は特に 変調のお開催する事となりました。創政知の通り本語間 本年も例年の通り明五月二日から個八日まで全國見歌 木年は、皇家に於かせられては異くも最后第七階下間

お監自漫のカナリヤは、乙にする

きつけて密擦お馴染の唱歌を歌響。 ます。今日はオーケストラの住家 住私になつてゐて楽しい音を出し

参与になるべき實践的な如識を放 壁理正法について内科外科にわた り各々の態威から一般都家庭の部 の心得や家庭で知つておくべき家 右の通りお屋者様を迎へるまで

に名を得し鄭士にて、三笠の繭を の語をぞくだしたまふ、ことに海 留洗、白霊、置など、はやりきつはじめとし、山とみまがふ藍鯛に 軍中將東郷平八郎と聞えしは、 ば、かたじけなくも畏くも、開散 たる野戦の、騒逐艦よりなりたて

くみ、八重の側路を打破り、腋鬢 は、うしろに製師の耐動あり、こそは避まるれ、それ膨繁の要 交艦隊 を、昭あて舳離相ふ

の水雷艇、日夜霽般記らず、戦車 めたる、多くの軍艦おしならび、 清岸出帆 代理店 國際運輸支店 五月十二日 代理店 五月十一日 電話一三番 電田 百會

R

水浦 L帆 代理店 明石 丸 四

てれる合理が油性物類意識高

高級で 家庭の 實用品 割安な

市途に溶崩す 水保して經濟

用ひ心地爽で 沈落しの良い 作用は緩和で 芳香は床しく 御子達の柔な 肌をも荒さず 見氣を發せず

で製化第二度ない花上ヨーイヤマ 本記子

能が鳴る

できみを見ぬ日のうぐひす、海ち

統が鳴る

大久保弘]作詞

かるところへ後年引起ひ見難り役

の概整も、もの人見事にうちなな

着りにおこりたる。 墨つくばかり 入りふたくび放つ水電に、さしも

これを見て、すか言すなほも趣か

の大高、武林の南人に止められ、

ら一層死なうと決心し、自殺をは一

て間近い敵の降ソレフンバレー

べさつと沙風大漁の朝だ上、軸と一二下り 総役人丁塔が揃ひや、彼は養金の 一下しいき、エンヤレエンヤレ郷 すいと飛ぶっていずいないては へ書だとよ客だとよ、なより人間 発展佐護雄 デスットそびえた城門高く朝日に 白木雄雄作詞 デスットそびえた城門高く朝日に

場式ハテタタテタタ り出す矢士等、これぞ晴れての入

関かせたので元助は大いに繋び主

**動計入** の由を元助に言ひ

人たちの門出を配ひ、酒肴を用意

に足能であって一二とくり出して

なびくは日の柱の配、進軍ラッパー

| 開名から不思者と属られた。大高

~ 雪の墨町を日の丸が行く、働く

大久保弘一作詞 へっても進々しや昨日の暖に一番して三人を見返った。家の跡始末 配るのが本堂ちや投げ出せ内理院 悪りしたほまれの勇士等大和標と

を聞いて言矢八幡を念じ翌朝南國 をした元助は十四日原後中の太鼓

国现金是沿城出现

**山向院の脇に得ちらけて四十歳人** 

の喉の湯きを鬱やすために用意し

**心密柑をめいめいに贈った。又四** 

さなり、諸國を巡つて上郷塵能山

歌ら地震兵、いづれおとられこの

闘者の 來るまで

魔を

結び主人他養士た

長讔を保ち世を去つた。村の有志

襲元助の部職を永久に記念した が思義家と名付ける碑を立てて思

**B** 

当日から二十九日にいたる年水

醫學博士 大番兵次郎

能樂堂中心

頃は如月八日

五月十五日
田、韓川、青渓、南宮、小神田、韓川、青渓、南宮、小神田、韓川、青渓、南宮、小神
今谷総共延新式優秀賃客船ニンテ
条内書笠墨、水社及代理店へ御申
建プリズ第谷麓航路案内書御送り

本語 東京·隔間 〇丸 見屋商店

一般は外にございませんか程御家庭でお徳用を